２０１８年（平成３０年）５月２８日　月曜日

デーリー東北　１２面　掲載

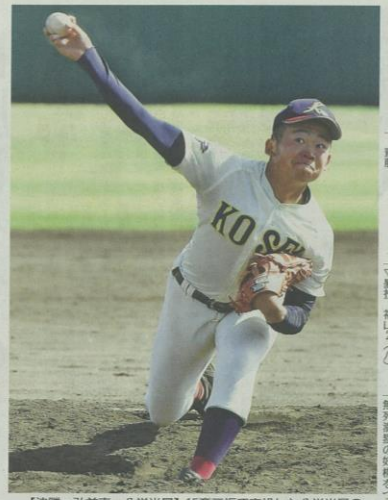
光星 ４年ぶり頂点

福山圧巻 15K完投

走攻守 総合力で圧倒

ハイライト

決勝



【決勝・弘前東―八学光星】15奪三振で完投した八学光星の主戦・福山優希＝長根

八学光星が王者に返り咲いた。昨秋準Vの弘前東を8―2で破り、2016年夏ぶりに青森県大会を制した。試合後、ナインは一様にほっとした表情で、勝利の喜びをかみ締めた。この日先発した背番号1の福山優希は、県内屈指の強力打線を誇る弘前東相手に奪三振ショーを展開。四回には主砲松館佑希也を2ストライクで追い込むと、ボール球を挟んで「球が遅く見えるはず」とフォークを投じ、相手を仕留めた。

七回には「自信のある直球」で二死満塁のピンチを三振で切り抜け、熱戦のさなかでも冷静に相手と向き合い、15三振を奪った。先頭で打席に立った主砲東健太郎が右翼線に二塁打を放ち、猛攻ののろしを上げると、連続の内野安打で先制。さらに2犠飛と3安打で一挙6得点した。

この回、2点適時三塁打を決めた遊撃手の武岡龍世は「とにかく楽しもう」と立った打席で